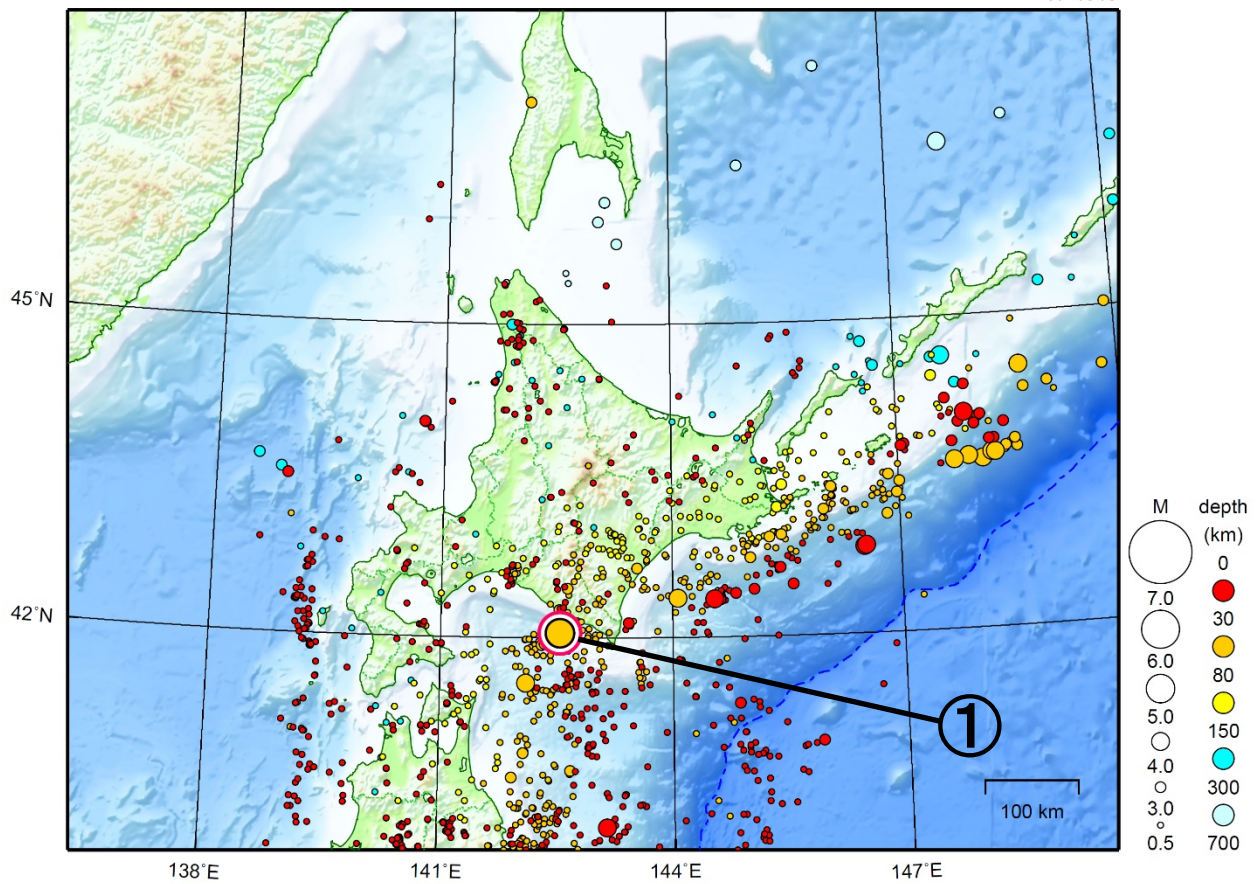


北海道地方

2022/02/01 00:00 ~ 2022/02/28 24:00

N=1310



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

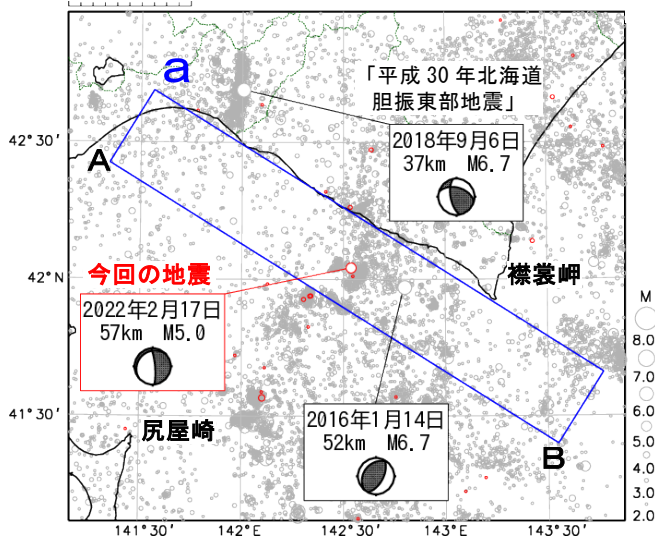
- ① 2月17日に浦河沖で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

2月17日 浦河沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2022年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2022年2月の地震を赤く表示

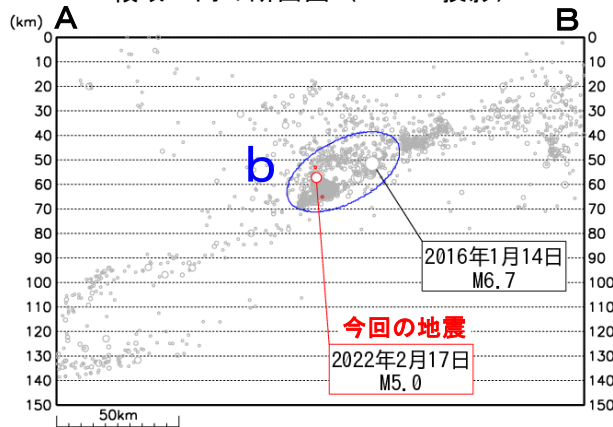


2022年2月17日18時17分に浦河沖の深さ57kmで $M 5.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構が東北東－西南西方向に圧力軸を持つ型で、陸のプレート内で発生した。

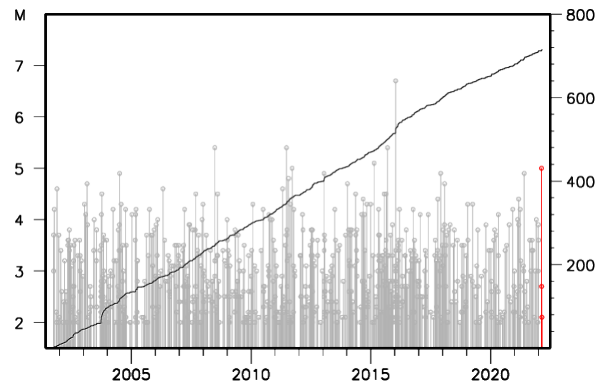
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。このうち、2016年1月14日に発生した $M 6.7$ の地震（最大震度5弱）では、負傷者2人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（ $M 7.1$ 、最大震度6）では、北海道で重軽傷者167人、住家全半壊41棟などの被害が生じた（「昭和57・58年災害記録」（北海道、1984）による）。

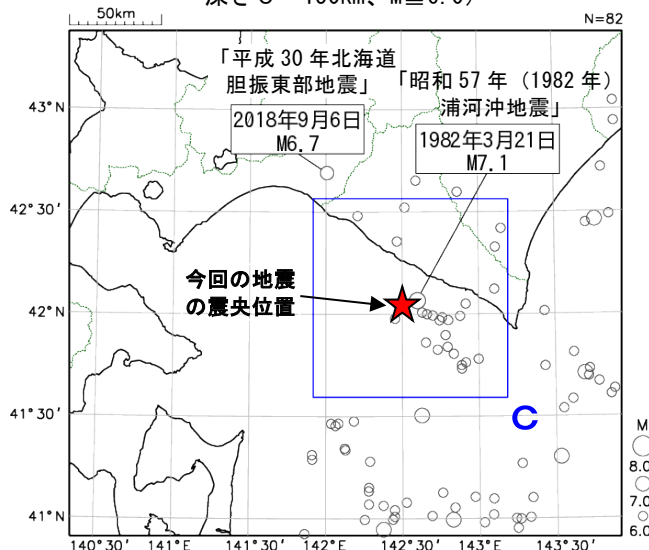
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図

